

寒い日が続いてますが、そんな寒さに負けることなく、元気いっぱいな子どもたち。雪が降った日には目を輝かせながら雪を見つめ、「つめたいね〜!」「もっと、もっとふって〜!」と喜び合っていました。積もる日を心待ちにしているようです。

“ぽんたの自動販売機”の絵本が大好きなうさぎ組の子どもたち。以前、みんなで一緒に読んだ時も物語の世界に夢中になっていました。また、そこからリズム表現遊びに発展すると、すっかり世界に入り込んでいろいろな動物になりきることを楽しんでいました。そして今は、“ぽんたごっこ”の劇遊びをしようと、どんどんイメージが広がってきています。歌の歌詞やそれに合わせたダンスなど、子どもたちと話し合い、考え、うさぎ組みんなで作る世界でひとつの作品。保育参観日を楽しみにしててくださいね。

1月の終わりから始まったお当番活動!「おてっだいしたい!」「もうじぶんでできるんだ」という子どもたちの熱い思いから始まりました。これからも子どもたちの“自分でしたい”と思う気持ちやチャレンジしたい気持ちなど、一人ひとりの思いを大切にしながら成長を見守っていきたいと思います。



とても寒い日、氷を見つけた子どもたち。割ってみたり、つまんでみたりとても嬉しそうに触っていました。
「あ!これ、かきこおり?」と、かき氷は、氷から作られていることを発見した様子でした。これからも、様々な新しい発見をしていきたいと思います。

寒い日が続いていますが、上着いらすの子どもも多く、鬼ごっこや長縄などをして元気いっぱい体を動かして遊んでいます。走ることが大好きで、入室前に「はしりたい!」と子どもたちからマラソンのリクエストがあり、園庭をみんなで走り、体をぼかぼかにして入室しています。今月も寒さに負けず、元気に過ごしていきたいと思います。

先月から劇遊び『さるかにがっせん』の取り組みが始まり、これまで色々な役になって遊んできました。始めは、恥ずかしくて小さな声でセリフや歌をうたっていた子どもも、繰り返し取り組むうちに自信を持って表現することを楽しんでます。また、『さる』や『うしのふん』などの役の面白さも回を重ねるごとに分かってきて、やってみたいと話す子どもが増えてきました。配役が決まり、これからは役の気持ちをみんなで考えて話し合ったり、衣装や道具を協力して作ったりして、楽しみながら進めていきたいと思います。それぞれが表現する姿をみんなで認め合って、演じる楽しさや友だちと劇を作っていく喜びを感じていけるようにしていきたいと思います。

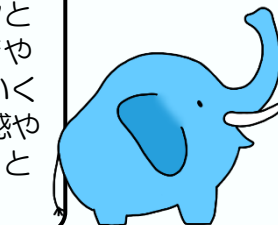
また、毛糸やフェルト、リサイクル素材など色々な素材を使って、個性あふれる鬼の面が出来上がりました。節分の日にはみんなでお面を被って、新聞で作った豆まきをするのを楽しみにしている子どもたちです。



大学グラウンドで凧揚げを楽しんでいる時の出来事。風がよく吹いていて、凧糸を持って立っただけで、凧がぶんわり舞い上がりました。
Aくん「このままお空まで飛んじゃったらどうしよう。」
Bくん「みんなでお空に行っちゃうね!」
Aくん「それ楽しそう!!!」
子どもたちの夢のある世界でした。

寒さが厳しい季節となりましたが、子どもたちは毎日元気に戸外で遊んでいます。ドッチボールや鬼ごっこなど友だちと誘い合いながら楽しんで、太陽の光が当たるところだと「暑いわー。上着なんていらんな」と言いながら袖をまくり、時には汗も滲ませながら体を動かしています。動きが以前より活発になってきたことで、こうした姿も見られ、たくましさを感じています。

1月の中旬ごろから劇遊びに取り組んでいます。劇の題材決めや、セリフやうた、場面の進め方や必要な役など、様々なことをみんなで話し合いながら進めています。“どろぼうがっこう”のお話の世界が大好きな子どもたちは、担任だけでは難しかったアイディアを次々と引き出し、発想の豊かさを感じました。その時の楽しそうな表情や生き生きとした笑顔に、自分たちの力で最初から最後まで作り上げていく喜びが伝わってきています。こうした日々の積み重ねを大切に、充実感や達成感を味わいながら保育参観日を迎えられるようにしていきたいと思います。



節分の話をしていた時のこと。
Aくん「先生、豆以外で鬼をやっつける方法を考えたて!」
保育者「どんな方法なの?」
Aくん「あんな、体中に柎の葉っぱを着けて、鬼が攻撃してくれへんようにするねん!」
まだまだ発想がかわいいそうぐみです。